

会 議 記 録

次の審議会（協議会）を下記のとおり開催したので報告します。

審議会等名称	令和5年度第1回近江八幡市社会教育委員・公民館運営審議会委員の会議		
開催日時	令和5年6月14日（水） 13:30～15:05		
開催場所	近江八幡市文化会館 2階 会議室2		
出席者 会長◎ 副会長○	<社会教育委員> ◎大橋委員 ○中江委員 楠亀委員 深山委員 山田委員 葛島委員 松岡委員 吉井委員 中野委員 三木委員 高橋委員 <説明者・事務局> 生涯学習課 富江課長 西嶋主任主事 田中主事 瀧口事務員		
次回開催予定日	令和5年9月		
問い合わせ先	所属名・担当者名： 近江八幡市教育委員会事務局生涯学習課 田中 電話番号：0748-36-5533 Fax番号：0748-36-5565 メールアドレス： 045000@city.omihachiman.lg.jp		
会議記録	発言記録・ 要 約	要約した理由	内容が整理され、記録として残すことに適しているため

事務局	1. 開会 (1) 挨拶
委員長	委員長挨拶
事務局	会議出席者の報告
事務局	↓ 議事交代(委員長による議事進行)
	2. 報告・協議事項 (1) 令和5年度近江八幡市教育行政基本方針並びに重点施策について
委員	令和4年度とは何が違うのか。
事務局	大きく変わった点は、「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」において4年度は読書が中心の取組であったが、そこに運動が重点施策として加わっている。教育委員会において、市のオリジナル体操として「にこまる体操」の制作にも取り組んでいる。 また、4年度は子ども・若者相談窓口が開設した。5年度は相談機能の充実とケース会議の開催により、子ども・若者の更なるより良い支援の検討を重ねていく。
委員	読書や運動は以前から目標に設定されていたかと思うが、これまでとの違いはあるのか。
事務局	一層力を入れて取り組むということである。
委員	子ども・若者ネットワークについて、昨年度会議に1回出席したが、その時の話で相談の受け入れを広げるとのことだったが、どのような取り組みをされたのか。
事務局	4年度は相談窓口が出来て専門の職員を1名配置した。5年度は関係機関や家族からの相談を受けて、どのような支援が望ましいか、就労や自立に繋げるために、ハローワークやサポートステーションに紹介して具体的な支援を進める予定である。4年度は立ち上げて方針を考えていく最初の会議だったが、5年度は関係機関の担当職員と連携をとって、各ケースごとに具体的な支援方針の確立まで進めていきたいと考えている。
委員	4年度は準備段階ということか
事務局	そうです。
委員	相談は実際にあったのか。
事務局	一番上は39歳で引きこもりの方の父親からの相談、他には高校卒業後の就職先が決まっていない方の高校の先生からであるとか、高校・中学校生活がうまくいかない生徒の行きしぶりなど、年齢層は幅広く悩みも多様である。どういう支援が必要か、本課だけでは限られた人材であるため、市の関係課や他関係機関と連携しながら先日もケース会議を開いた。
委員	昨年度は準備段階とのことだが、今後は相談業務もやっていくということか
事務局	相談業務は昨年度からもやっている。ただ、他の関係機関と連携するところまでは進んでいなかった。
委員	今までの相談業務はどこがやっていたのか。

事務局	<p>本課に子ども・若者相談窓口が出来て、専用電話が1回線設置された。</p> <p>相談窓口が出来た際には、学校などにパンフレットの配布や説明に伺った。その効果もあり、家族や関係機関からの相談が来ている。</p>
副委員長	<p>青少年問題協議会の協議などの結果として相談窓口の設置に至ったのか。</p>
事務局	<p>引きこもりなどの問題を抱えた多くの子ども・若者で相談できずに悩まれている当事者やご家族が相当数おられると考えられるので、国の施策の一つとして各市町、県に相談窓口の設置が推進されている。</p>
副委員長	<p>相談対応の人材は足りているのか。</p>
事務局	<p>本課には、専門職員が一人で、課内でケース会議等をどう対応していくか話し合い、関係機関のスクールカウンセラーや児童福祉士等の専門的な方の力を借りながら、支援について考えていく必要があると考えている。</p>
委員	<p>4年度は生涯学習課が中心で対応していたケースを、5年度はネットワークを形成して対応していく形で進めていくということか。</p>
事務局	<p>そのような認識のとおりで、更に取り組みを進めていく。</p>
委員	<p>相談について集計が出るようになるのか。</p>
事務局	<p>全体的な相談件数・内容の集計も行っていく。</p>
委員	<p>今までは、障害や精神的な問題があり学校にいけない、勉強ができない、いじめられるなどの弱者を支援するための個々の専門窓口があって対応していたが、家庭の環境によって対応の方策が異なり、ケースによって相談先が異なるなど、なかなかまとまった形での相談ができるところがなかった。子ども・若者相談窓口は第一歩かなと思っている。横の繋がりをもってやってほしい。一人も取り残さないということが前提なので、個別が責任を負うのではなく、チームを作らないと難しいと思う。そこを考えながら、これから進めていただきたいと思う。私も個別に相談されることがあるが、市民としてできることは限られているので、公的な市の相談窓口として充実していただくことを期待している。</p>
委員	<p>ネットワークの整備において、どの機関のどのようなチームと連携しているかが分かるようにしてほしいと思う。</p>
委員	<p>相談窓口の周知は引きこもっている方には届きにくく、支援に結び付きにくいと思うが、その対策はどのようにしているのか。</p>
事務局	<p>そこが非常に難しいと感じている。昨年度も相談窓口のことを知ってもらうためにいろいろな会議の場で説明してきている。本年度は、市のホームページや市公式LINEに登録されている方に配信したり、ハローワーク、精神的な病院にもチラシを配布したりと周知に努めている。また、周知に加えて対象者の増加に耐えうるだけの体制づくりが必要だと痛切に感じている。</p>
委員	<p>生涯学習は生まれてから高齢者までが対象であり、学校教育に関わる年齢層以外の人たちに対する施策を考えていただきたい。このことについては、毎回質問しているが、回答は得られていない。</p>
事務局	<p>子ども・若者相談窓口で言うと、園や学校に在籍されている方は関係機関がある</p>

	<p>ので対応をとりやすいが、高校を中退されたり所属先のない方のサポートは非常に難しい。学習に関しても同じで、学校にいる間は学校から情報が入るが、例えば読書の推進について、家族の方に読書習慣があるかどうかにより、子どもの読書量も変わってくるという結果も出ている。学齢期以外である者の学習やサポートに関する底の部分が生涯学習課で扱うべきことだと感じている。</p>
<p>委員</p>	<p>もっとそういったことを表に出していただいて、皆さんで議論することが必要ではないか。生涯学習課という名前を使われるのであれば、どこにも属さない方もたくさんおられると思うので、生涯学習というのであれば、そういう方のこれから先の教育というものを考えていかなければいけないと思う。年齢層を広くとって、サポート先のない人達に対しての教育を考えていただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>おっしゃっていることは正論だと思う。高齢者の生涯学習に関する施策が、基本方針にないとの事だが、国から高齢者への施策を基本方針に入れるよう言われているのか、社会保障など福祉関係の組織での施策とすべきこととされているのか、その関係を明らかにしていただけると解消する話だと思う。委員長はどう思われているか教えていただきたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>長浜市の場合、生涯学習の施策の中に高齢者の方への項目も多くはないが含まれている。高齢者オンリーの施策ではなく、地域の住民や学校との関係を持たせながらの施策になっている。これは、教育基本振興計画に基づいた基本方針のため、就学前から高齢者まで幅広く網羅されていると思う。それに基づいて方針が出ているのであれば、何らかの形で高齢者に関わる施策があってもいいのかなと思っている。どういう風に盛り込むかは各市町の方針によるが、生涯学習推進実施計画にも記述が無いので、無いのはおかしいなという気はしている。</p>
<p>委員</p>	<p>生涯学習という切り口がすっぱり抜けているように私の眼には映る。学校教育については体系化されて非常によく検討されているし、子ども・若者のサポートも手の抜けぬ課題なので取り組んでいただいているのは結構なことだと思う。私たちが考えないといけないのは、問題を抱えている人がそのように至った背後にある社会である。それを考えるときに社会教育が関与している分野になるけれども、それが施策から漏れている。社会教育というもので地域がどうあるべきかということ、地域の人にどのようなメッセージを出していくかというのを市の教育を預かるころから発信して、わかりやすい目標を掲げながらやっていかなければいけないと思っている。</p>
<p>委員</p>	<p>資料の生涯学習推進実施計画を見ると、教育委員会以外の部署も関わっていることが記載されている。これを見ると、実践項目にまちづくりリーダーをつくる、生涯にわたり学びを生かすなど高齢者向けの項目も含まれているが、基本方針には入っていないので違和感をもつ。市としての計画であるので、お互いに反映されるべきところだと思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>教育振興基本計画がベースになって基本方針が出来ているということになるが、振興基本計画はどのような形で策定されたのか。行政以外の外部委員も策定にかかわったのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>第2期の基本計画は令和3年度に市民も交えた年数回の策定会議で策定された。</p>
<p>委員</p>	<p>PTA 連合会からの保護者の代表として、私自身も策定に関わらせていただいた。案が出来ているものに対して意見を出させていただいており、文章の細かい言い回しに対する訂正等が主であり、根本的な内容についてはあまり論議が交わされなかった。</p>
<p>委員長</p>	<p>長浜市の場合、事務局から原案が出され、それに対して一つ一つじっくり議論</p>

事務局	<p>して最終的なものを決めるということをしている。米原市は、アンケート調査を中学生、高校生、一般市民、教員等に5回ほど実施し、その結果に基づいて振興計画を策定されている。非常に充実したものとなっており、私も高く評価している。そこまでいかなくても、きちっと委員の方々が議論できるような形で基本計画が策定されていれば、高齢者の課題も入っているのではないかと、結果的にそうならないのは疑問に思う。</p> <p>基本計画は庁内だけの各課で策定されているのか</p> <p>教育委員会担当課と教育委員会の委員の方々とで策定された。</p>
委員	<p>本来であれば各課の意見が入っている計画が基本になるので、原案に対して市民からの意見を聞く場があれば指摘、修正が出来たのかなと思う。会議の場で資料を初めて見ては、内容を十分理解できないので、もっと先に資料をいただいて、事前に読んで理解して、会議で意見を述べるという風にやっていただきたらと思う。そうしないと意見が出せないと思う。いい物を作ろうと思うと時間がかかるものだ。時代に合わせて少しずつ進歩していただければと思う。</p>
委員	<p>一保護者として策定委員会に出席したものの感想として、教育関係者のエキスパートな方々の中で、充て職で出席しているものが意見を出したり、資料を読み込んだりすることが難しかった。「教育大綱」と聞くと学生の話と捉えがちであるが、様々な年齢の方々を対象とした教育という発想がなかった。もっと広く意見を聞いていたらそのような意見もあったと思う。一般の方向けにわかりやすくまとめた資料も必要だと思う。今後に向けて、一市民の人にも気軽に意見をしてもらえる状況にしていってほしい問題も出てこないのではないかとと思う。</p>
委員長	<p>いろいろな貴重な意見が出ましたので、これを参考に次年度以降改善できるところは改善していただきたい。</p>
事務局	<p>(2) 令和4年度近江八幡市生涯学習推進実施計画進捗管理について</p>
委員	<p>達成度の表について、事業数は分かるが、事業内容が分からないので記載していただけるとよかった。</p>
事務局	<p>事業の内容、評価、達成度は、資料2の進捗管理報告書に一覧表があるのでそちらをご覧ください。</p>
委員	<p>若い世代の参加の減少は全ての事業についてか、達成度4のものに限ったことか。</p>
事務局	<p>達成度4の特に(49)のスポーツ課が所管する「学校体育施設開放事業」についての記述となる。分析結果として宣伝活動が十分できなかった。全体的には幅広い年齢層の方々にご参加いただけた。</p>
委員	<p>この報告書の活用効果について教えていただきたい。</p>
事務局	<p>報告書作成にあたり、事業担当各課に照会をかけるため、各課で昨年度の取組を振り返り、現状や課題、課題に対する改善方法などを回答していただくことになっている。このような作業が、次年度に事業を実行していくうえでの方策を整理する契機となっている。</p>
委員	<p>実際に改善はしているのか</p>
事務局	<p>資料のグラフの前年度との目標達成度比較表のとおり達成度が高い事業が増えているので何らかの改善は見られる。</p>

委員長	感想だが、住みよいまちづくり推進講座、地域課題等学習講座で高齢者問題に少し触れていただいている。せっかく取り組んでいただいているので、基本方針に少しでも書いていただけるとよかったのではないかと思う。
副委員長	(3) 部会からの報告「まちづくり事業と社会教育」部会 説明について、意見・質問を求める。→意見なし
委員長	議事終了
事務局	3. 連絡事項 説明について、意見・質問を求める。→意見なし
副委員長	閉会の挨拶
事務局	閉会

